

怪談・民話



小泉 八雲

『古椿』(小泉八雲画)

地域資源として

受け継ぐ

「小泉八雲」
「ふるさと怪談」に学ぶ

地域に語り継がれてきた民話・昔話が静かに消えてゆく現代、
民間伝承を近代文学として活用した先覚者の一人である小泉八雲の
曾孫にあたり、「文化資源学」にも詳しい小泉凡氏をお迎えし、
怪談・民話を地域資源として受け継ぐ思いや方策について、全国の
さまざまな事例に詳しいパネリストとともに幅広く議論する。

愛知大学総合郷土研究所シンポジウム

日時：2017年 3月18日(土)
(受付13:00-) 13:30 - 17:00

会場：愛知大学豊橋キャンパス記念会館小講堂
入場無料、申し込み不要(会場定員200名)
豊橋鉄道渥美線「愛知大学前駅」下車すぐ
※ 公共交通機関でお越しください。

【第Ⅰ部 基調講演】

小泉 凡 氏 (小泉八雲の曾孫、小泉八雲記念館館長)
「地域資源としてのふしぎ文学
～小泉八雲と怪談の活用をめぐる～」

小泉八雲『怪談』よりくおしどり>

薩摩琵琶による演奏と講話(村田 青水 氏)

【第Ⅱ部 パネルディスカッション】

小泉 凡 氏
東 雅夫 氏 (アンソロジスト、文芸評論家、怪談専門誌
「幽」編集顧問、ふるさと怪談トークライブ 代表)
豊田 高広 氏 (田原市中央図書館長)
内浦 有美 氏 (株式会社うちうら・ぼったり堂 代表)

怪談・民話を地域資源として受け継ぐ、とは



小泉八雲『怪談』

地域で語り継がれてきた民話は、今日に至って話者が減少して静かに消えていくものが少なくない。一方、境港市に代表されるように地域資源として新たに生命を吹き込まれていくものもある。全体として話者が減少している今、私たちがどのようにして民話の豊かな世界を先人から受け継ぐとともに、今日の新たな資源として活用し、次世代に受け渡していけばよいのだろうか。そこで、民間伝承を近代文学として昇華させた先覚者の一人である小泉八雲の曾孫にあたり、未発掘の地域文化を掘り起こして資源として社

会的に活用する方法を探究する「文化資源学」にも詳しい小泉凡氏をお迎えし、怪談・民話を地域資源として受け継ぐ思いや方策について幅広く教授いただく。同時に、ふるさと怪談の提唱者であり怪談専門誌『幽』編集顧問としても活躍されている東雅夫氏や、ふしぎ文学半島プロジェクトを5年にわたり実行している田原市中央図書館の館長である豊田高広氏をパネリストに迎え、本テーマに対して実践的な事例や専門的な視点からの見地をお話しいただくながら地域と民話の未来について考えたい。



小泉凡（こいずみ・ぼん）

島根県立大学短期大学部教授・小泉八雲記念館館長・焼津小泉八雲記念館名誉館長。
1961年東京生まれ。成城大学・同大学院で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。小泉八雲、妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光文化創造に生かす実践研究や子どもの五感力育成をめざすプロジェクト「子ども塾」で塾長として活動する。2001年から2002年は米国セントラル・ウシントン大学交換教授。
主著に『民俗学者・小泉八雲』（恒文社1995年）、『文学アルバム小泉八雲』（共著 恒文社、2000年）、『怪談四代記―八雲のいたずら』（講談社、2014年）2016年に文庫化）ほか。小泉八雲の直系の曾孫にあたる。日本ペンクラブ会員。



東雅夫（ひがし・まさお）

アンソロジー、文芸評論家、怪談専門誌『幽』編集顧問。ふるさと怪談トークライブ代表。
1958年、神奈川県横須賀生まれ。早稲田大学文学部卒。1982年に研究批評誌『幻想文学』を創刊、2003年の終刊まで編集長を務めた。近年は各種アンソロジーの企画編集や、幻想文学・ホラーを中心とする批評、怪談研究などの分野で著述・講演活動を展開中。2011年、『遠野物語と怪談の時代』（角川選書）で第64回日本推理作家協会賞を受賞。著書に『文学の極意は怪談である』（筑摩書房）『なぜ怪談は百年ごとに流行するのか』（学研新書）ほか。編集書に『文豪怪談傑作選』（ちくま文庫）『てのひら怪談』（ポプラ文庫）の各シリーズ、ほかがある。



豊田高広（とよだ・たかひろ）

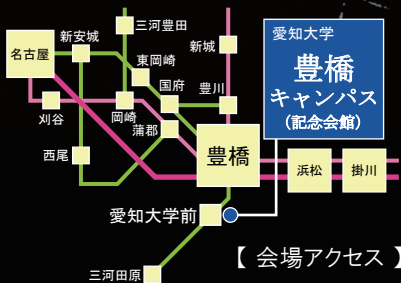
愛知県田原市中央図書館長。
1958年、静岡市生。静岡市役所入所後、1994年に図書館配属。
開設準備にあつた静岡市立御幸町図書館（Librar of the Year 2001）優秀賞を受賞。2006年から館長。愛知県田原市図書館長公算に応じ、2010年4月に採用される。現在、田原市教育部長兼中央図書館長。
著作（共著）に『図書館はまちの真ん中』（静岡市立御幸町図書館の挑戦）（勁草書房、2007）、『市場化の時代を生き抜く図書館』（時事通信社、2007）ほかがある。



内浦有美（うちうら・ゆみ）

株式会社うちうらぼつたり堂代表
愛知大学総合郷土研究所・研究員。
1979年、豊橋市生。名古屋大学教育学部卒。2007年9月に独立「地域活性化」人材育成・キャリア教育の企画運営・調査研究を主とし、地域での人づくり・魅力発信に取り組み。
リクルートワークス研究所客員研究員（キャリア教育の評価（論文上梓）を経て、「葉っぱビジネス」で有名な徳島県上勝町へ活動拠点を拡大。地域の自治体や企業と協働しながら、地域ビジネスや暮らしに関心のある全国の若者を地域に呼び込む。豊橋では2011年4月に地域交流古民家「ぼつたり堂」を開堂し、「豊橋妖怪ハンコ展」・「豊橋妖怪ハン祭り」を企画・実施。2014年に書籍『豊橋妖怪百物語』（豊川堂）を上梓する。

『妖魔・逆さ柱・雪女』（小泉八雲画）



【会場アクセス】

豊橋鉄道渥美線「愛知大学前駅」隣接（新豊橋駅より6分）
会場（記念会館）は豊橋キャンパスの南端にあります。
また、会場（3階）へのエレベーターはございません。

◎ 主催・お問い合わせ先

愛知大学総合郷土研究所

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1 愛知大学豊橋キャンパス研究館2階

Tel : 0532-47-4160 Fax : 0532-47-4190

[電子メール] kyodoken@ml.aichi-u.ac.jp

<http://www.aichi-u.ac.jp/kyodoken>



愛知大学
AICHI UNIVERSITY